

平成 25 年 2 月 1 6 日

# 南 の 風 3 0

南部ミニバスケットボール連盟

会 長 藤原 敬一

南部連盟は、現在（2／11）男女とも新人戦のブロック決勝が終わったところです。途中経過につきましては南部連盟のホームページ競技の欄をご覧ください。

さて、どこの県、あるいは地区でもこの時期は、どう新人戦を乗り切るか（新6年がしっかりいるチームは別として）が課題となっていると思います。経験の少ない選手が多いチームや、やっと 10 人集まったチーム、または下級生の選手を出さざるを得ないチームは、ゲームをどうやって成立させたらよいかに四苦八苦のことと思います。

そこで今回は、下記のようにチーム構成の違いによる、新人戦や来年度に向けての戦い方について考えてみます。（二例挙げます。参考にして見てください。）

## 《チームに下級生（1、2年生）と上級生が混在している場合》

人数の関係で、登録したばかりの下級生をゲームで使わざるを得ない時は、まず怪我をさせないことが一番大切です。次にゲームの進め方を指導し、自分の役割を教えることです。自分の動く場所や行ってはいけないところを指示し、何回か練習で確認させることです。また、上級生には攻めと守りとやることを徹底し、下級生にはゲームをしながら、下級生に「声掛け」をしてやるように指示しましょう。大変なことはわかりきっていますが、最低限の約束を守ってゲームに臨むようにしてください。

オフェンスは上級生に限定されますが、「その時点でやれることを徹底する」ことが大事です。シユートを中心としたプレイを練習しましょう。ディフェンスは、下級生には「簡単な役割」を与え上級生が助けるようにしましょう。決して簡単なことではありませんが、チーム状況に照らしてやってみてください。

## 《チームに上級生がいなかったり、一人か二人であとはすべて3、4年生の場合》

上級生は経験があることを前提に考えてみます。3、4年生がある程度経験があるのであれば、攻めも守りも1対1を中心に教えていきましょう。新人戦だけを考えずに長いスパンで考える方が今後につながります。新人戦でシード権を取りに行くのであれば、タクティクスを考えゾーンで守ることも視野に入れましょう。3、4年生に経験者が少ない時は、やはり攻めは、上級生に限定されます。なるべくシンプルな攻めにしましょう。3、4年生には、**ゲームでより多く展開される場面**をピックアップして教えることが大事です。どうしても初心者はボールを持つと、どうしてもいかわからず、当たり構わず投げてしまい、ボールを相手に捕られてしまいがちです。ボールを持ったら、周りを見てあわてず味方にパスするか、相手の守りの状態によってはピボットをして味方にパスです。2～3回練習のできるのであれば、慌てず味方の上級生にパスすることが大切です。1対1でドリブルが使えるのであれば、もちろん突破します。**経験の少ない選手がボールを簡単に失うことがない**ようにしてください。大変なことは十分わかりますが、「今」やるべきことに限定して教えましょう。

もう少し早く紹介すればよかったです。参考になればと思います。